



THE ONE & BIG ONE

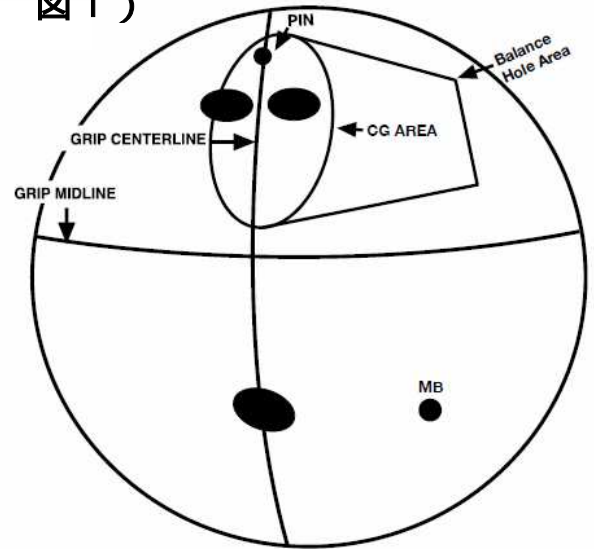
皆様から寄せられた質問に
～エボナイト開発者がお答えします～

QUESTION 1

【Q】ピンが‘0-1 インチ’や‘1-2 インチ’に近いTHE ONE (BIG ONE) が届きました。ドリルパターン『ドリル1』でのドリルできません。

【A】 いえいえ、ドリルできますよ。短いピンの場合、USBC の規定に合うように、フィンガーウェイトを抜けばいいのです。私からの提案は、フィンガーホールを通常より深くドリルする方法です。もちろんUSBC の規定内の深さにして下さい。また、バランスホールをドリルする場合も、USBC の規定に合わせることを忘れないで下さい。この場合は、フィンガーウェイトとサイドウェイトが同じになるように、バランスホールの位置を決めてください。この提案通りにドリルする事でボールの動きを損なう心配はありません！（図1を参考にしてください。）

図1)



QUESTION 2

【Q】 私の THE ONE(BIG ONE)は、ピンとマスバイアスとCG が一直線じゃないので、ドリルできません！！

【A】 いいえ、そんなことはありません。好きな位置にピンとマスバイアスを置いてドリルしてください。ドリルの後に、バランスホールの位置を決めます。例えば、CG がピンとマスバイアスのラインより右にずれている場合、バランスホールをセンターラインに沿って右に置いてください。私がお勧めしているのは、(右投げポウラーの場合)グリップセンターから右に4インチ、上に1/2インチの所にバランスホールをドリルする方法です。ドリルの深さやビットのサイズは抜くウェイトによって決めてください。参考までに右の2つの図を用意しました。図2-AはCGエリアがピンとマスバイアスのラインより右に、図2-Bは左にずれています。CGエリアが左にずれている場合は、CGがグリップセンター付近になりますので、バランスホールの必要はありません。

図2-A)

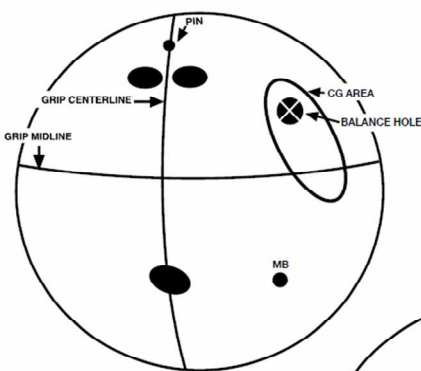


図2-B)

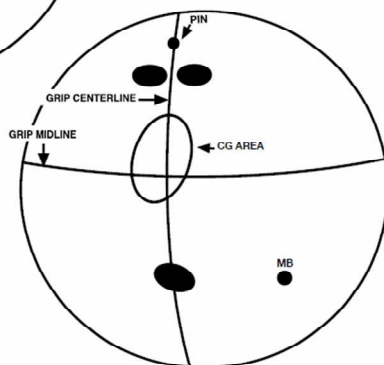


Illustration 2B

QUESTION 3

【Q】 私が持っている THE ONE (BIG ONE) はCG、ピン、マスバイアスの順番に並んでいます。ドリル出来ないですよね？

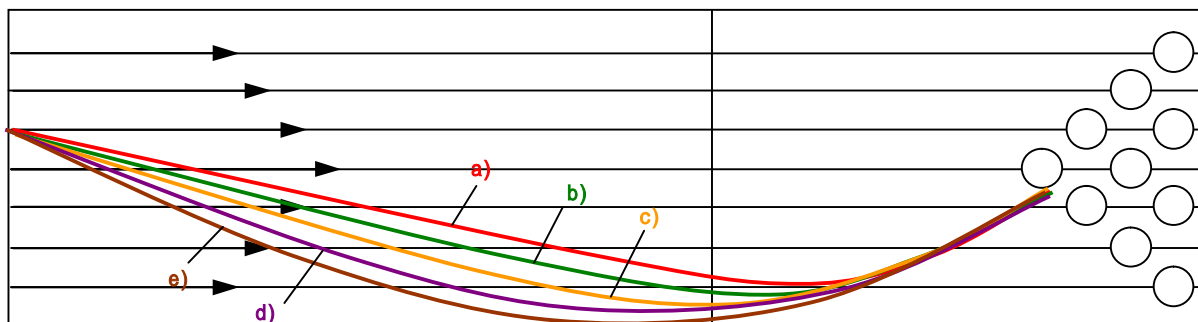
【A】 こういうボールは確かにドリルが難しいので、サンブリッジに交換してもらってください。ただし、ドリルとしては、QUESTION 1の要領で、フィンガーホールの上にウェイトホール(大きくなると思いますが)を空けて下さい。この場合フィンガーホールも深くドリルすることをお勧めします。この要領でドリルが可能になります。

QUESTION 4

【Q】 私の THE ONE は期待していたよりも曲がりません、フックを大きくすることは出来ますか？

【A】 THE ONE シリーズで使用されている GB カバーは現在のボウリング業界で一番強いカバーです。決してフックが甘いわけではありませんが、出荷時のハイポリッシュ加工とスムーズな表面(4000 グリットブレード)仕上げにより、大きなフックを期待している方には多少甘く感じるかもしれません。そのような時は、サンディングすることをおすすめします。サンディングすることによって驚くほどフックが増します。箱だしから比べてアブラロンサンディング加工で予想される効果は次の通りです。

THE ONE 使用時のイメージ図



THE ONE

- a) 4000Grit - ポリッシュ (THEONE 箱出し)
- b) 4000Grit - ポリッシュなしー板目 2 枚分フック増加 6 インチ手前からのボールリアクション
- c) 2000Grit - ポリッシュなしー板目 4 枚分フック増加 9 インチ手前からのボールリアクション
- (4000・2000 Grit - ポリッシュなしーオイル量が多いレーン・フレッシュなレーンに最適)
- d) 1000Grit - ポリッシュなしー板目 6 枚分フック増加 12 インチ手前からのボールリアクション
- e) 500Grit - ポリッシュなしー板目 9 枚分フック増加 15 インチ手前からのボールリアクション
- (1000・500 Grit - ポリッシュなしーオイル量が多くパターンが長いレーン・バックエンドが鈍くなってきたレーンに最適)

BIG ONE (THE ONE より5~8 ボード分フックが大きく、約 12 インチ手前からリアクションするバックエンドに強いボールです)

- 4000Grit - ポリッシュなし (BIG ONE 箱だし)
- 2000Grit - ポリッシュなしー板目 2 枚分フック増加 6 インチ手前からのボールリアクション
- 1000Grit - ポリッシュなしー板目 4 枚分フック増加 9 インチ手前からのボールリアクション
- 500Grit - ポリッシュなしー板目 6 枚分フック増加 12 インチ手前からのボールリアクション
- 360Grit - ポリッシュなしー板目 9 枚分フック増加 15 インチ手前からのボールリアクション



~ 開発者からのおすすめ ~

エボナイト社製 アブラロンパッド (3枚セット)
サイズ (#180・#360・#500・
#1000・#2000・#4000)

QUESTION 5

【Q】 私の THE ONE (BIG ONE) は購入時のようなパフォーマンスを発揮しません、回復させることは出来ますか？

【A】 はい、できます。工場出荷時と同じ様にボールを仕上げる事で購入時のリアクションを取り戻します。
#500、#1000、#2000、#4000 グリットの順にアブラロンでボールを磨きます。THE ONE は、さらにパワーハウスファクトリーフィニッシュでポリッシュして下さい。BIG ONE も THE ONE も再び本来のパフォーマンスを取り戻します。またこの行程は、何度でも繰り返しが可能です。ぜひトライしてみてください。GB カバーは、耐久性に優れています。通常のハイパフォーマンスボールの寿命の約 2 倍です。(当社比)



簡単メンテナンス！

使った後に軽く拭くだけで OK！

～開発者からのおすすめ～

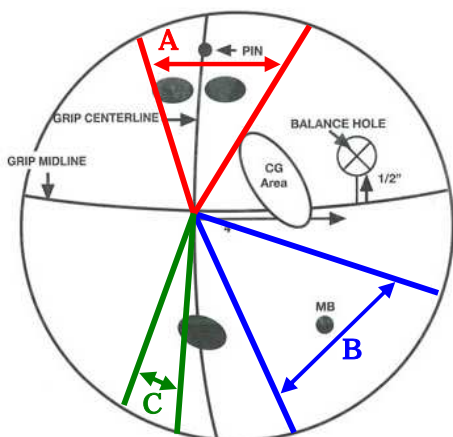
エボナイト社製
パワーハウスエナジザークリーナー



QUESTION 6

【Q】 エボナイトの奨励パターンでドリルをしなければ、パフォーマンスを発揮しないのでしょうか？

【A】 奨励パターンのエリア以外にピンを置くことは可能です。しかし、十分にボールのパフォーマンスを発揮させるにはストロングゾーン(35-70 度)にマスバイアスを置いてください。マスバイアスをウィークゾーン(0-30 度と 75-105 度)に置くと、急激にバックエンドリアクションが減少してしまいます。ほとんどのボウラーは、より強いバックエンドリアクションを求めていると思いますので、できるだけ奨励パターンでのドリルをおすすめします。



- ↔ A PIN エリア
- ↔ B MB エリア
30° ~ 75°
- ↔ C MB エリア
(クランカータイプ)
105° ~ 115°

